

2025年5月8日

各 位

一般社団法人ナレッジキャピタル

## 日韓クロス・マーケティングや文化・芸術分野のクリエイター育成目的で連携 韓国・国立アジア文化殿堂と連携協定を締結

一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:高橋 豊典)は、昨日 2025年5月7日に韓国 National Asian Culture Center(国立アジア文化殿堂/国立アジア文化殿堂長:キム・サンウク)(以下 ACC)と相互連携に関する覚書(MOU)を締結しましたのでお知らせします。



調印式の様子



韓国 | 国立アジア文化殿堂(ACC)

ナレッジキャピタルは、産業創出、人材育成などにおける国際交流活動として、これまでにアジア、ヨーロッパの9つの国と地域の機関と連携し、各国の企業や公的機関とのビジネスマッチングの実施や国際展示会等への相互出展を行ってきました。また、ナレッジキャピタルをハブに各機関をつないで、文化と産業に関する国際会議の開催や、これまでにない教育プログラム開発を行うパートナーシップを締結するなど多岐にわたる活動を行っています。

このたび、新たに韓国・文化体育観光部の傘下機関で、光州市に展示・研究・交流などのための大規模な施設を有し、アジアの文化芸術の交流と創造の拠点として多様な文化活動を展開する ACC と連携協定を締結しました。連携内容は、相互の施設によるクロス・マーケティングや文化・芸術分野のクリエイター育成を目的とした交流プログラムおよび協力活動などです。

ACCとは、2018年10月当時にACCの施設運営組織であったアジア文化院(ACI)とMOUを締結し、交流を深めてきました。その後2022年にACIより一部事業を移管されたアジア文化殿堂財団(ACCF)とも連携してきましたが、今回あらためてACCFの上位組織に該当するACCとの連携に至りました。

本MOU締結により海外との連携機関は20機関となりました。今後もナレッジキャピタルは、各機関と国際交流を通じて、産業や文化、人材育成において新しい価値の創造を目指してまいります。

以上

### ■韓国・National Asian Culture Center | 国立アジア文化殿堂(ACC)とは

韓国の文化体育観光部傘下の機関であり、韓国・光州市に2015年に開館した大規模な文化施設。約11万㎡の敷地に文化情報院、文化創造院、芸術劇場、子供文化院、民主平和交流院などの施設を有する。アジアの文化芸術の交流と創造の拠点として展示・公演・研究など多様な文化活動を展開し、光州市の文化的・経済的発展の核となっている。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人ナレッジキャピタル 担当:財満

電話 06-6372-6427 / Mail press@kc-i.jp

※ナレッジキャピタルは、2013年4月に民間企業主体により開業した「グランフロント大阪」の中核施設です。「感性」と「技術」を融合し、「新たな価値」を創出する世界初の「知的創造・交流の場」として、開発事業者の出資により一般社団法人ナレッジキャピタルと株式会社KMOが共同運営しています。

■ナレッジキャピタル海外連携先一覧 \*印は公的機関

- \*アルスエレクトロニカ | オーストリア(リンツ)
- \*Hong Kong Cyberport Management Company Limited | 香港
- \*香港サイエンステクノロジーパーク社 | 香港
- \*デジタルアートセンター | フランス(アンギャンレバン)
- \*クリエイティブ・エコノミー・エージェンシー | タイ(バンコク)
- \*台湾デザイン研究院 | 台湾(台北)
- \*TUBA | フランス(リヨン)
- Smart City Consortium | 香港
- \*CEA Leti | フランス(グルノーブル)
- \*アトリエ・アート・サイエンス | フランス(グルノーブル)
- \*アダム・ミツキエヴィッチ・インスティテュート | ポーランド(ワルシャワ)
- Wacano | フランス(ヴァルドワーズ)
- \*ウィーン・ビジネス・エージェンシー | オーストリア(ウィーン)
- \*国立アジア文化殿堂財団 | 韓国(光州)
- 黄龍万科センター・ナレッジシティー | 中国(杭州)
- \*タイ国家イノベーション庁 | タイ(バンコク)
- \*キルギス共和国ハイテクパーク | キルギス共和国
- \*アドバンテージオーストリア | オーストリア
- \*ウォーターシェッド | イギリス
- \*国立アジア文化殿堂 | 韓国

【ナレッジキャピタル施設概要】

施設名	ナレッジキャピタル	
所在地	〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館	
施設案内	The Lab. みんなで世界一研究所 (アクティブラボ・カフェラボ・イベントラボ)	地下1階～3階
	フューチャーライフショールーム	1階～6階
	SpringX	2階
	ナレッジシアター	4階
	ナレッジサロン	7階
	コラボオフィス・コラボオフィスネクス	7階～8階
	カンファレンスルーム	8階・10階
	ナレッジオフィス	9階～13階
	コンベンションセンター	地下1階～地下2階
運営組織 代表者	一般社団法人ナレッジキャピタル 株式会社 KMO	代表理事 高橋 豊典 代表取締役 水原 正明
事業者 (五十音順)	NTT 都市開発株式会社 NTT 都市開発プライベート投資法人 株式会社大林組 オリックス不動産株式会社 関電不動産開発株式会社 ジャパンエクセレント投資法人 ジャパンリアルエステイト投資法人 積水ハウス株式会社 株式会社竹中工務店	中央日本土地建物株式会社 東京建物株式会社 日鉄興和不動産株式会社 日本プライムリアルティ投資法人 阪急電鉄株式会社 阪急阪神リート投資法人 三菱地所株式会社 三菱倉庫株式会社